

サマーコンサート

松浦ウインドオーケストラ

松浦ウインドオーケストラ(浦順平団長)のサマーコンサート 2011 が 8 月 21 日、文化会館で開催されました。

コンサートは 2 部で構成。第 1 部では、打楽器アンサンブルステージとしてクラシックの名曲を披露。第 2 部のオリジナルステージでは、人気アイドルグループ AKB48 の「会いたかった」やドラマの主題歌「マル・マル・モリ・モリ！」などを演奏しました。

会場に集まった人々は、軽快な曲が流れると、手拍子をしたり体でリズムを取ったりしながらコンサートを楽しんでいました。



まちの話題

Matsuura City Topics

中学生が保育所でコンサート

志佐中学校吹奏楽部

志佐中学校吹奏楽部(濱田寿枝、吉田真由美顧問)が 8 月 17 日、星鹿保育所で演奏会を開きました。

同部では、毎年 2 回ほど市内の病院や保育所などで演奏会を開催しています。

この日は、夏休みということもあり、学童に通う児童も園児たちと一緒に演奏会を楽しみました。園児や児童に人気の曲目が演奏されたほか、風船バレーや手作りのプレゼントが用意されており、会場内には子どもたちの笑顔が溢れていました。



サマーキャンプ IN まつうら ～南三陸町の中学生がやってきた～

宮城県南三陸町の中学生 68 人が 8 月 17 日から 21 日までの間、体験型旅行に本市を訪れました。

この体験型旅行は、東日本大震災被災地支援の一環として、市が被災地の子どもたちを招待したもので、一般社団法人まつうら党交流公社、上志佐体験振興会、青島体験振興会の協力を受けて実施しました。

歓迎式では、志佐商工振興会(古賀一郎会長)から南三陸町へ義援金が渡されました。この義援金は、同会が毎年 8 月 15 日に開催している花火大会の募金と併せて災害義援金として募金活動を行い集められたものです。

参加した生徒たちは、上志佐地域の家庭に民泊しながら



被災者支援体験交流推進事業

ら、そば打ちや押し寿司作り、漁業体験や海水浴場でのバーベキューなどを体験し、ハウステンボスやグラバー園などの長崎観光も楽しみました。

限られた時間でしたが、日ごろ、被災地で不自由な生活を送っている生徒たちは、心休まるゆつくりとした時間を過ごしました。



読み聞かせの魅力を次の世代へ

中学生による読み聞かせの集い

市PTA連合会母親委員会読書グループ(坂本則子代表)が主催する「中学生による読み聞かせの集い」が8月27日、鷹島開発総合センターで開催されました。

この取り組みは、絵本の読み聞かせの魅力を次世代に伝えようと今年から始められたもので、この日は、今福・福島・鷹島中学校の生徒12人が、会場を訪れた鷹島保育所の園児26人に絵本の読み聞かせを行いました。

読み手として参加した鷹島中学校2年の山岡徹舟君は「抑揚とリズム感を持つことに注意して読みました。

聞いてくれる園児たちの笑顔が見れてうれしかったです。本を読むことが好きなので、また参加したいです」と話していました。



決意や思いなどを発表

福島地区少年の主張大会

平成23年度福島地区少年の主張大会(福島地区青少年健全育成会、教育委員会主催)が8月23日、福島体育館で開催されました。

この大会は、青少年の健全育成を目的に毎年開催。小学5年生から中学生までの全員に日ごろ感じていることなどを作文にしてもらい、その中から選ばれた小学生4人、中学生3人が保護者や地域住民を前に発表しました。審査の結果、小学生の部では「家族の大切さ～東日本大震災を通して～」という題で発表した近藤大喜君(養源小5年)、中学生の部では「私達にできること」という

テーマで発表した山野夏稀さん(福島中3年)が最優秀賞に選ばれました。



祝 100歳

宮田カズヨさん(福島・土谷)が8月27日、100歳の誕生日を迎えました。

宮田さんは明治44年生まれで、若いころは農業に従事。5人の子どもに恵まれ、今では孫が17人、ひ孫が36人、やしゃごが12人のお婆ちゃんとなりました。

現在は、グループホームに入所し、ホーム内では、食欲旺盛で、朝の体操をしたり歌などのレクリエーションにも積極的に参加したりしています。

この日は、本人からやしゃごまでの家族5世代が集まり、宮田さんの100歳を賑やかにお祝いしました。



宮田カズヨさん・武田タキさん

武田タキさん(志佐・下庄野)が9月4日、入院中の菊地病院(志佐町)で100歳の誕生日を迎えました。

武田さんは明治44年生まれで、子どもが4人、孫が8人、ひ孫が1人います。

現在は、歩行することが困難なため、ベッドで過ごすことがほとんどですが、雑誌を読んだり甘い物を食べたりすることが大好きとのこと。

この日、友広市長からお祝いの言葉や花束を受け取った武田さんは、照れくさそうに顔を隠したり笑ったりしていました。

武田さんを入れて市内の100歳以上の人は17人になりました。

